

ID	発症日	報告番号	製造会社	製造工程	原料	宿主	製造国	製造工程	有害物質	遺伝子組換え	病原体	出典	概要	
357	2009/11/27	90765	メルクセローノ株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	C127細胞株(マウス細胞)	マウス細胞	米国	製造工程	無	無	無			
358	2009/11/27	90766	メルクセローノ株式会社	ホリトロピンアルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター細胞株	不明	製造工程	無	無	無			
359	2009/11/27	90767	メルクセローノ株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ臓臓	米国	製造工程	有	無	無	インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 369-374	90588に同じ
												ブルセラ症	CDC/MMWR 2009; 58: 618-621 2009 June 12	90670に同じ
												ブルセラ症	ProMED-mail 20090920.3303	米国テキサス州Tomball出身の76歳男性が2009年初めにブルセラ症と診断された。男性とその息子は野生ブタの狩りをし、1頭を解体したが、ブタの扱いには注意を払い、また常に手袋を着用していた。Huston Chronicle紙は2009年9月17日付けでテキサスの野生ブタの10%はブルセラ菌に陽性と報告したが、州の東部では更に高い割合とされている。
360	2009/11/27	90768	メルクセローノ株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	1)マスターセルバンク(不明) 2)ワーキングセルバンク(米国)	製造工程	有	無	無	狂犬病	ProMED-mail 20090418.1470	90764に同じ
												狂犬病	ProMED-mail 20091001.3415	90764に同じ
												結核	ProMED-mail 20090613.2198	90764に同じ
												結核	ProMED-mail 20090628.2343	90764に同じ
												炭疽	ProMED-mail 20090804.2750	090764に同じ
												炭疽	ProMED-mail 20090815.2894	090764に同じ
												炭疽	ProMED-mail 20090917.3266	090764に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	製品名	生物由来 成分	原料地名	原産国	含有 成分	文 種	症 例	遺伝 検査 結果	感染症(PT)	出典	概要
361	2009/11/27	90769	ワイス	エタネルセプト(遺 伝子組換え)	仔ウシ血 清	ウシ血液	米国	製造 工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	2009年5月15日、カナダ食品検査局(CFIA)はアルバータ州の80月齢の乳牛1例がBSE(bovine spongiform encephalopathy)であることを確認した。動物の死体のどの部位もヒト食用もしくは動物飼料の流通に混入していない。この動物の生まれた牧場は特定されており、調査中である。感染動物の月齢や場所はカナダで検出されたこれまでの症例と一貫性がある。カナダはOIE(World Organisation for Animal Health)によってBSEの制御されたリスク国として認められており、今回の例はカナダ産牛や牛肉の輸出に影響は及ぼさない。
362	2009/11/27	90770	ワイス	エタネルセプト(遺 伝子組換え)	ウシトラン スフェリン	ウシ血液	ニュージ ーランド	製造 工程	有	無	無	BSE	CFIA 2009 May 15	90769に同じ
363	2009/11/27	90771	ワイス	エタネルセプト(遺 伝子組換え)	チャイニー ズハムス ター卵巣 細胞	チャイニー ズハムス ター卵巣	不明	製造 工程	無	無	無			
364	2009/11/30	90772	日本ポリオ 研究所	経口生ポリオワク チン	トリブジン	ブタの膵臓	アメリカ・カ ナダ	製造 工程	有	無	無	新型インフル エンザ (H1N1)	CBS News 2009 April 24	カナダ当局は、2009年4月24日、メキシコから送られた51症例のヒト試料をNational Microbiology Laboratoryにて検査した結果、16例がブタインフルエンザに陽性であったと発表した。メキシコではアウトブレイクにより20名が死亡し、1004例が感染しており、WHOは緊急会議を招集する予定である。最近、メキシコから帰国したカナダ人がインフルエンザ様症状を呈した例があるが、ヒトのブタインフルエンザ感染を確認した例はない。
												新型インフル エンザ (H1N1)	CIDRAP News 2009 April 24	2009年4月24日、米国CDCの発表によると、メキシコで死者も出ている呼吸器疾患のアウトブレイクが起きているが、その患者試料は軽症の症状を示した米国患者から分離されたブタインフルエンザと一致した。米国ではブタインフルエンザA/H1N1が確認された症例は8例となり、遺伝子セグメントは4つの異なるインフルエンザタイプから構成されている。また、メキシコで流行しているウイルスは季節性インフルエンザとは異なり健康な若年成人に多く感染しており、ブタインフルエンザA/H1N1はオセルタミビルおよびザナミビルに感受性がある。
												新型インフル エンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58 (Dispatch); 1-3 (2009 April 24)	ブタインフルエンザA(H1N1)ウイルスに感染した追加の6症例について。カリフォルニアのサンディエゴで3例、インペリアルで1例、テキサスのグアダルペで2例報告された。これらの患者から分離されたウイルスはメキシコの患者から分離されたウイルスと同じであった。
												新型インフル エンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ



ID	採集日	番号	報告者名	品名	生物由来 種別	検体名	国名	年齢	性別	症候	検出 時期	感染症 (PT)	出典	概要
												新型インフルエンザ (H1N1)	BBC News 2009 May 24	英国Health Protection Agencyは更に9人のブタインフルエンザ症例が確定され、総計27例であると報告した。H1N1ウイルス感染と診断された5名は7歳の児童で、学校は少なくとも7日間閉鎖される。児童の症状は比較的軽症であり、アウトブレイクの感染源は調査中である。児童と接触のあったヒトは抗ウイルス薬投与がなされている。その他、3校が閉鎖となっていることを含め、英国での新型インフルエンザに関する状況が述べられている。
												新型インフルエンザ (H1N1)	USDA/ARS 2009 May 30	米国のARS (Agricultural Research Service)は2009H1N1インフルエンザウイルスに関する最近の研究結果を公開した。米国産ブタ群が新型ブタ由来(S/O)H1N1インフルエンザウイルスに感染するかを調べる目的で、米国のブタインフルエンザウイルス感染歴のあるブタもしくはワクチンを接種したブタの血清を採取し、検査した結果、新型S/O H1N1インフルエンザウイルスに対する交差性には限界があり、既に米国内で流行しているブタインフルエンザウイルスによって惹起された免疫は現在ヒトの間で流行している新型S/O H1N1インフルエンザウイルスからブタを守ることはないことが示唆された。
												新型インフルエンザ (H1N1)	The New York Times 2009 June 24	新型ブタインフルエンザパンデミックはメキシコの農場で発生した説が一般的だが、federal agricultureはアジアの豚で発生し、人により北米に運ばれたと考えている。しかしそれを証明する方法はなく、また、それを支持するには中途半端なデータのみである。ユーラシアと北米の遺伝子が組み合わさった新型ウイルスが北米の豚で流行した証拠はなく、一方非常に関連のある「姉妹ウイルス」がアジアで流行した証拠がある。
												新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 361; 674- 679	2009年3月24日-4月29日、入院 821例および死亡 100例を含む計 2,155 例の重症肺炎がメキシコ保健省(Mexican Ministry of Health)に報告された。この期間に8,817例の鼻咽頭検体がNational Epidemiological Reference Laboratoryに提出され、うち2,582例が S-OIV陽性であった。患者の死亡率と罹患率における年齢の変化を検討する目的で、重症肺炎として報告された患者の年齢分布を最近のインフルエンザ流行期間と比較した。調査期間中、死亡例の87%および重症肺炎症例数の71%が5-59歳の年齢の患者であり、対照期間における同年齢グループではそれぞれ平均 17%、32%であった。今回の流行の特徴は、若年集団に感染する季節性ではない流行を示す新型インフルエンザウイルスが流布している点が過去のインフルエンザパンデミックと似ている。インフルエンザパンデミックの初期には重症肺炎の発症率が急上昇し、そうした病気のある患者の年齢分布に変化があった。これは過去のパンデミックを連想させ、1957年パンデミック以前の小児期に H1N1 株に曝露された人々が今回のパンデミックで相対的に防御されたことを示唆した。

ID	登録日	更新日	種別	製剤名	成分	原料	製造国	有効成分	有	無	無	無	出典	概要
													Science Daily 2009 July 5	現在のH1N1ブタインフルエンザの発生のルーツは、1918年にアイオワ州で行われた豚の品評会Cedar Rapids Swine Showでブタを発病させた病気にあり、ピッツバーグ大学大学院公衆衛生の感染症の専門家がNew England Journal of Medicineに報告した。H1N1はほぼ1世紀続いており、絶滅した種が偶然復活した過程を経ている。H1N1インフルエンザウイルスはその経てきた歴史を通して伝播の可能性を示しており、また、インフルエンザウイルスの出現と変革の歴史に関する研究は、一般的なパターンを示し、我々が可能な限り準備するために必要な情報となる。
365	2009/12/3	90773	化学及血清療法研究所	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	無		CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
													厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009 May 16	90498に同じ
366	2009/12/3	90774	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	無	無		Eurosurveillance 2009 April 16; 14(15)	90550に同じ
													Hepatology 2009; 49; S156-165	90717に同じ
													Transfusion 2009 July; 49; 1314-1320	90666に同じ
													Transfusion 2009; 49; 648-654	90717に同じ
													第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55; 245	90550に同じ
													Emerging Infectious Disease 2009; 15; 704-708	90550に同じ
													第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55; 244	90550に同じ
													Pediatrics 2009; 124; 658-666	90550に同じ
													第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24; 314	90550に同じ



ID	発症日	患者名	性別	年齢	職業	居住地	旅行歴	既往歴	検査項目	検査結果	出典	概要
										ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
										インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	90550に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360: 2605-2615	90473に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	Eurosurveillance 2009; 14: 19244	90550に同じ
										ウイルス感染	日本感染症学会 第83回総会 P224 O-171	90505に同じ
										ウイルス感染	ProMED-mail 20090806.2782	90666に同じ
										ウエストナイルウイルス	CDC (http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90550に同じ
										チクングニヤウイルス感	CDC 2009 August 17	90550に同じ
										デング熱	ProMED-mail 20090831.3065	ベトナムハノイ市では、デング熱症例が深刻な増加を示しており、2009年初から8月下旬までに2500症例が報告され、これは2008年の同時期と比べて10倍以上であった。また、ホーチンミン市ではデング熱症例数の急増はないものの、多くの患者が重症化しており、死亡例も多くなっている。同市の第一小児病院は、毎日20-25人がデング熱症例のため来院しており、小児のデング熱症例は、感染後1-2日は手足口病やH1N1インフルエンザとの判別が難しいためデング熱への警戒をゆるめることがあるが、小児は死に至ることがあると注意喚起した。
										HTLV	47 news. 2009 Jun 27	90550に同じ

ID	受通日	番号	報告者名	報告機関	検体	検体部位	検体国	有効成分	有	無	無	真正有用検査	感染症(PT)	出典	概要
													HHV-8感染	Journal of Infectious Disease 2009; 199(11); 1592-1598	90550に同じ
													ボリビア出血熱	Emerging Infectious Disease 2009; 15; 1526-1528 (September 2009)	BHF(Bolivian hemorrhagic fever)は1959年にボリビア東部でのアウトブレイク発生時に初めて報告され、2007年2-3月、ボリビアで少なくとも20例(死亡3例)のBHF疑い例が報告された。2008年2月には少なくとも200例(死亡12例)の疑い例が報告され、19症例の血清を間接免疫蛍光法およびPCRを用いて検査した。その結果、アレナウイルス5株が分離され、ウイルスRNAの遺伝子配列の結果、マチュポウイルスを確認し、8つの主要な系統に分類された。その後も、マチュポウイルスは孤発症例やボリビアでのBHFアウトブレイクの原因となっているが、5例(死亡3例)の農業従事者である患者については、5例ともBHF感染歴のある患者からの血漿成分輸血を受けたが、3例は死亡した。病状が重篤化する前に、マチュポウイルスによって免疫が惹起された血漿を投与することが生存率を高くする。
													細菌感染	日本感染症学会 第83回総会 2009 April 23-24; 224 O-172	90717に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 20090108.0076	90550に同じ
													BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbmonde.htm.)	90550に同じ
													BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbru.htm.)	90550に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ 2009 May 21	90550に同じ
367	2009/12/8	90775	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒトの肝臓	日本	有効成分	有	無	無		リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ



